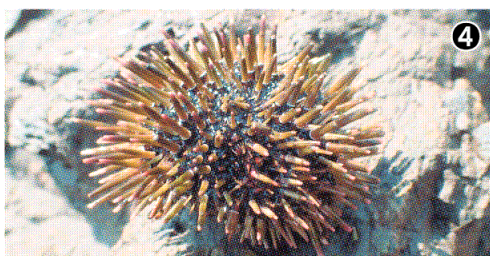




①潮の引いた磯。一見何もなしに見えて、たくさんの生き物が隠れています。枕崎市②石の上を歩くアマクサアメフラシ③触手を伸ばすクロホシアカナマコ④岩の隙間にいたツマジロナカウニ



何もないと思ったら、石をひっくり返してみましよう。小さい透명한エビやカニたちがササッと動き、隣の石に身を隠すはず。また、ナマコ

春は、昼間に大きく潮が引く季節です。海藻観察が大好きな私は、大潮に合わせて磯を訪れます。一見静かな磯には、海藻だけでなく、たくさんの生き物たちが隠れています。大潮の日、最も潮が引く1時間ほど前から、軍手をはめて長靴をはいて、磯に降りてみましょう。海藻の上はすべりやすく、波打ち際近くには急に深くなる場所があるので要注意です。場所を決めたら、かがんでじっくり、生き物を探します。



磯で見つかる小さな命

がぴゅーっと水を出したり、小さなウニがくつついていたり…。びっくりさせないよう、見つけたら、水の中で静かに観察します。ウニのなかまは水管を伸ばし歩き始めます。ナマコも触手を伸ばして、砂を口に運び始めるかもしれません。観察後はひっくり返した石を戻すのを忘れずに！この石の裏も、小さな誰かの大切なすみかです。水たまりになった部分では、取り残された小さなハゼや、パートナーを連れて歩くヤドカリ、海藻を食べるウミウシ、触手を伸ばして餌を待つイソギンチャク、光合成するサンゴ…たくさんの小さな命が息づいています。ぜひ、のぞきに行ってみてください。

今回で生き物通信が終了します。鹿児島や世界、大きなもの、小さなもの、たくさんの生き物たちを紹介してきました。生き物の不思議や、小さいけれど身近にあるさまざまな命に、今後とも興味を持ち続けてもらえたらうれしいです。(魚類展示係飼育員・堀江諒)